

## 東広島市メールモニター「のんモニ」アンケート集計結果

アンケート	平成29年度第14回
実施期間	平成30年2月20日～平成30年3月1日
テーマ	AEDと救急要請について
担当課	消防局警防課
登録者数	134人
回答者数(回答率)	65人(48. 5%)

### 担当課のまとめ

#### ●アンケートの目的

救命率の向上のため、応急手当で使用される「AED」の認知度・理解度、また、救急車を適正に利用していただくために「救急受診アプリ」の認知度を把握する目的でアンケートを実施しました。

#### ●アンケート結果を受けて

AEDの認知度は高まってきていると感じました。しかし、理解度の部分では、使用方法を知らない方が多数おられる事から、継続して応急手当講習を受講していただくように呼びかけていきます。また、アンケートを通して、平成29年5月から配信が開始された『全国版救急受信アプリ「Q助」』を知っていただくことができたと思います。

#### ●今後の施策について

応急手当講習の受講者増加のため、引き続き広報紙への掲載、防火講話での受講の呼びかけなどに取り組んでいきます。そして、応急手当に対する知識及び技能を身につけた市民を増やします。また、東広島市内のAED提供協力施設を1つでも増やせるように努めます。

#### ●最後に

貴重なご意見を多数いただきまして、ありがとうございました。  
平成30年度も月に1度の応急手当講習の定期開催を予定しております。日程及び申込方法につきましては、消防局警防課のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。  
講習の内容は、成人向け及び乳児、小児向けを対象にしたものがありますので、受講希望又は興味を持っていただけたら、ご連絡いただきたいと思います。

#### 【お問い合わせ】

東広島市消防局 警防課 TEL:082-422-5648  
FAX:082-422-7248

応急手当講習について：<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/shobo/koshukai/1/12865.html>



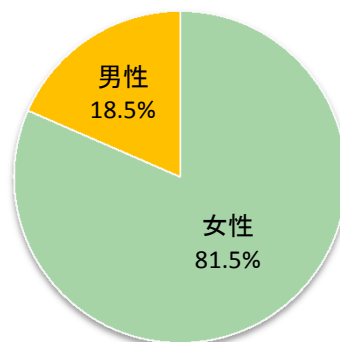
## ●回答集計

※端数処理のため、比率の合計が100%にならない場合があります。

### 【回答者の属性】

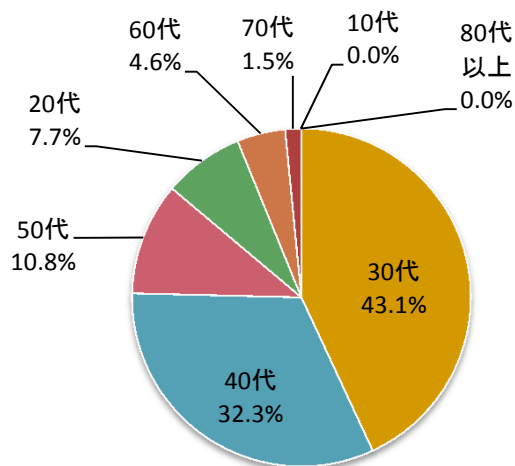
あなたの性別を教えてください。

順位	回答	回答数	%
1	女性	53	81.5%
2	男性	12	18.5%
	合計	65	100.0%



あなたの年代を教えてください。

順位	回答	回答数	%
1	30代	28	43.1%
2	40代	21	32.3%
3	50代	7	10.8%
4	20代	5	7.7%
5	60代	3	4.6%
6	70代	1	1.5%
7	10代	0	0.0%
7	80代以上	0	0.0%
	合計	65	100.0%

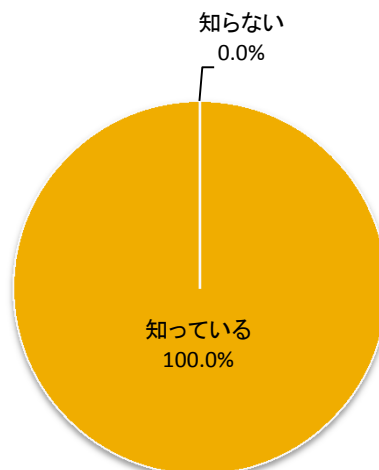


### Q1. あなたはAED(自動体外式除細動器)を知っていますか？

#### 【解説】

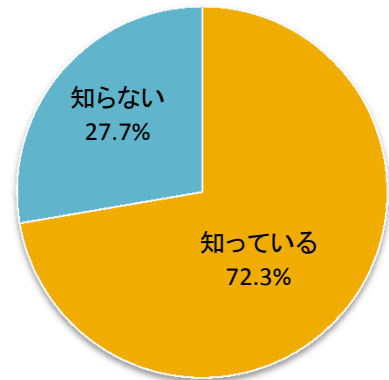
AED(自動体外式除細動器)とは、心臓が正しく機能していない状態の患者に機器が自動的に心電図の解析を行い、必要の場合は、電気ショックを与えます。電源を入れることで音声ガイダンスが流れ、それに従い、簡単に操作が行えます。

順位	回答	回答数	%
1	知っている	65	100.0%
2	知らない	0	0.0%
	合計	65	100.0%



**Q2. AED(自動体外式除細動器)の使い方を知っていますか？**

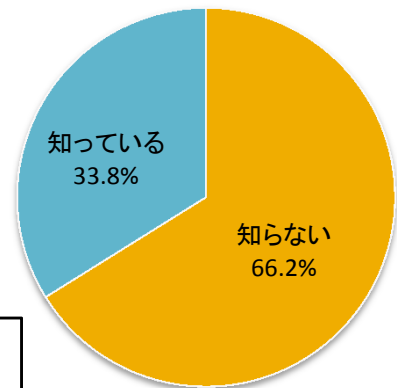
順位	回答	回答数	%
1	知っている	47	72.3%
2	知らない	18	27.7%
	合計	65	100.0%



**Q3. 消防局では、毎月1回応急手当講習の定期開催が行われることを知っていますか？**

【市ホームページ】 <http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/shobo/1/1/12633.html>

順位	回答	回答数	%
1	知らない	43	66.2%
2	知っている	22	33.8%
	合計	65	100.0%



講習会には、成人又は小児・乳児を対象とした心肺蘇生法などがあります。

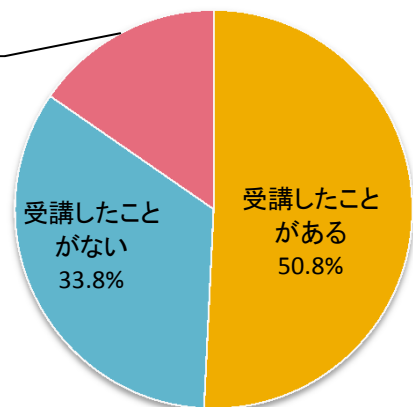
**Q4. あなたは消防職員から応急手当講習(心肺蘇生法)を受講したことがありますか？**

【解説】

心肺蘇生法とは、呼吸が止まり、心臓も動いていないと思われる人を救命するために行うもので、胸骨圧迫と人工呼吸を行います。

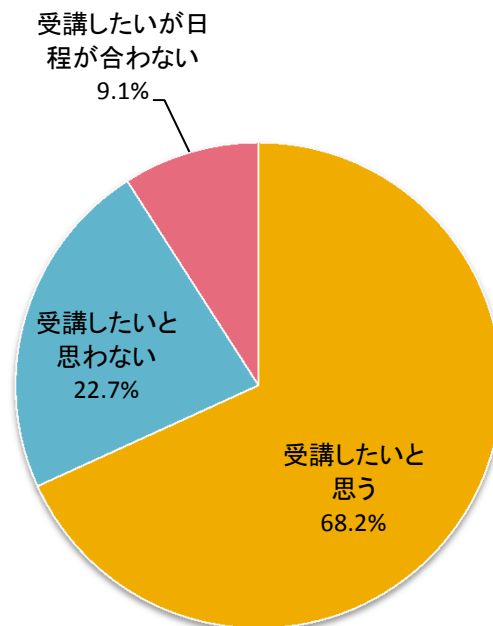
順位	回答	回答数	%
1	受講したことがある(→Q6へ)	33	50.8%
2	受講したことがない	22	33.8%
3	消防職員以外(医師・看護師等)から受講したことがある(→Q6へ)	10	15.4%
	合計	65	100.0%

消防職員以外(医師・看護師等)から受講したことがある  
15.4%



Q5. (問4で「2受講したことがない」と回答の方)機会があれば、受講してみたいと思いますか？

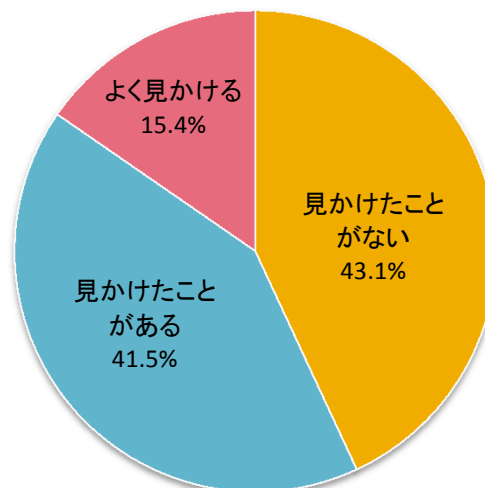
順位	回答	回答数	%
1	受講したいと思う	15	68.2%
2	受講したいと思わない	5	22.7%
3	受講したいが日程が合わない	2	9.1%
	合計	22	100.0%



Q6. この表示を見かけたことはありますか？



順位	回答	回答数	%
1	見かけたことがない	28	43.1%
2	見かけたことがある	27	41.5%
3	よく見かける	10	15.4%
	合計	65	100.0%



**Q7. AED提供協力施設公表制度を知っていますか？**

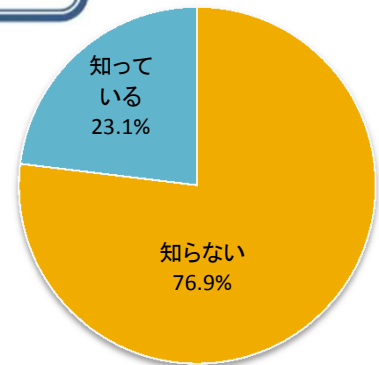
**【解説】**

東広島市消防局管内(東広島市、竹原市、大崎上島町)のAED設置施設のうち、施設の近くで心肺蘇生を必要とする傷病者が発生した場合に、保有しているAEDを応急手当に提供していただける施設を、東広島市消防局が認定し、施設名や住所、提供時間などの一覧表及び電子地図を市ホームページ等で公表する制度です。

【市ホームページ】 <http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/shobo/1/3/3101.html>

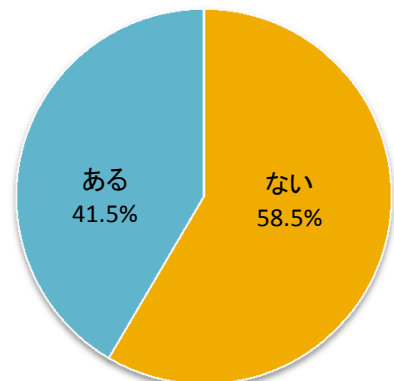


順位	回答	回答数	%
1	知らない	50	76.9%
2	知っている	15	23.1%
	合計	65	100.0%



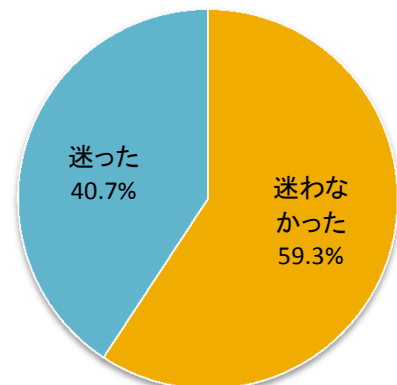
**Q8. あなたは119番して救急車を要請したことがありますか？**

順位	回答	回答数	%
1	ない (→Q10へ)	38	58.5%
2	ある	27	41.5%
	合計	65	100.0%



**Q9. (問8で「1ある」と回答の方)救急車を呼ぶ時、今の症状で救急車を呼んでいいのか迷いませんでしたか？**

順位	回答	回答数	%
1	迷わなかった	16	59.3%
2	迷った	11	40.7%
	合計	27	100.0%



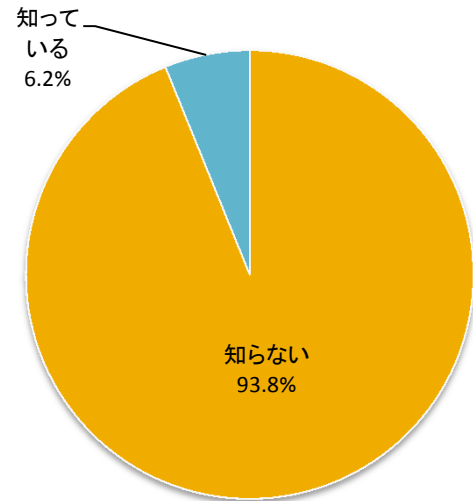
**Q10. 総務省消防庁が推進する全国版救急受診アプリ「Q助」を知っていますか？**

**【解説】**

一般市民の緊急度判定を支援してくるアプリです。使用方法としては、該当する症状などを画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。（「今すぐ救急車を呼びましょう」、「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」、「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」又は「引き続き、注意して様子を見てください」など）

【市ホームページ】 <http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/shobo/1/3/15092.html>

順位	回答	回答数	%
1	知らない	61	93.8%
2	知っている	4	6.2%
	合計	65	100.0%

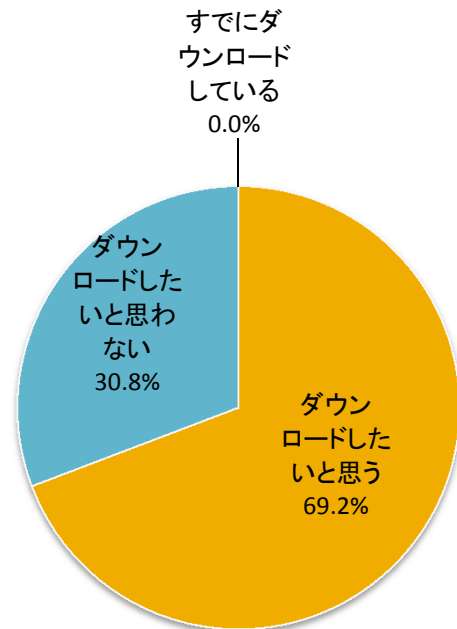


全国版救急受診アプリ「Q助」



**Q11. 「Q助」をダウンロードしたいと思いますか？**

順位	回答	回答数	%
1	ダウンロードしたいと思う	45	69.2%
2	ダウンロードしたいと思わない	20	30.8%
3	すでにダウンロードしている	0	0.0%
	合計	65	100.0%



全国版救急受診アプリ  
**Q助**  
きゅうけ

症状の緊急度を素早く判定!!!  
救急車を呼ぶ目安に!!!

消防庁では、住居の緊急度判定を支援し、利用でたてはとるのたてはとるの情報を提供するため、緊急度判定プログラム（※）をもとに全国版救急受診アプリ「Q助」を開発しました。

スマートフォン用アプリ  
[Google Play](#)
[App Store](#)

総務省消防庁「Q助」専用サイト  
[https://www.ama.go.jp/mednet/topics/medlist/6/kyuho\\_app.html](https://www.ama.go.jp/mednet/topics/medlist/6/kyuho_app.html)

総務省消防庁

## Q12. その他、アンケートの感想やご意見等ありましたら、記入してください。

### 【主な内容】

- ・ AED提供協力店があるのは知っているが、普段気にかけていないので、実際にAED提供協力店がどこかは知りませんでした。  
もしもの時に備えて、受講しておくべきとは思いますが、実際に緊急場面に遭遇したら、気が動転して扱えそうにない気がします。  
今回のアンケートで公表制度があると知ったので、もしもの時にはホームページやアプリを使用したり、AED提供協力店がどこにあるかだけでも気にかけておくようにしたいと思いました。
- ・ 子供の胸の痛みで救急車にきていただきました。夜間救急に電話したら、小児は受け付けられない、近くに行くところがない、だから、救急車を呼ぶように言われました。見た感じ、たいしたことないと思いましたが、指示に従い呼びました。急性心筋炎で大変な病気になっていて、医療センターから広島市民病院に行きました。めったにないことがあつたりします。救急車を呼ぶことに躊躇していましたが、呼んでよかった。病院同士のつながりも大事だと思いました。  
子供は、やはり早めに対処すべきかと思いました。
- ・ アプリというのはスマートフォン向けだと思いますが、いろいろ出ても、スマートフォンを使っていないのでどうしようもありません。救命講習等はいろいろな機会に受講しています。
- ・ Q助を知らなかったのので、ダウンロードしようと思った。ただ、いざという時にアプリを思い出せない可能性も高いと思うので、不安はある。
- ・ 脱水で突発的に自力で起き上がるのが難しい状況となり東広島市消防局に電話しましたが、起き上がれるようになるまで待ちタクシーで行くよう要請されました。いろいろと言いたいことはありますが、横柄な消防対応への対処など、市政だよりで取り上げていただければと思います。
- ・ こういう情報はわかりやすく市民に徹底して欲しいとも思うので、広報紙には大きく注目される形で載せるべきだと思うし、こういう情報ばかりを集めて保存誌を作るべきだと思います。
- ・ 昨年応急手当の講習を受けた時に、Q助の紹介も口頭で少しあったように思いますが、存在を忘れていました。いざという時に便利なようなので、もっと広く知られるようにしてほしいです。
- ・ 昨年地域の防災訓練に参加し、AEDの使用方法を学びました。職場でもそのような機会はあるものの、気になりつつ参加できていなかったのので、非常にためになりました。  
実際に使用することがない事を望みますが、もしもの時に知っていればよかったと後悔のないようにしていけたらなと思います。アプリの情報も助かりました。
- ・ 小さい子供や年配の家族が居ると急病が心配。  
夜の診療体制を手厚くしてほしい。
- ・ AEDについて 以前講習を受けたことがありますが 実際に必要な時に動けるかどうか分かりません。  
普段から気にかけていないと、と思います。
- ・ 応急手当の方法を一度習っておくと、とっさの時に役に立つと思います。私は機会があり受講していますが、多くの市民の皆さんが受講できるといいです。  
消防職員の方々は、通常の勤務がありながら、講習会を開催されるのでご苦労があらうかと思いましたが、とても有意義な講習会でした。
- ・ AEDが活躍することがないのが一番いいのですが、緊急を要する場合戸惑い大切な命を失わせない為、使用方法などをもっと頭に入れておきたいと思います。音声で使用方法を教えてくださいようですが、冊子までいかなくても、ステッカーなどで目に付くところに貼れる様にできればいいなと思います。
- ・ 介護関係の仕事をしているので、研修でAEDの事を学んだことは数回ある。  
家でも高齢者と同居しているので、緊急時はどうするかなど家族でも話し合っておきたいと思う。

- AED関連のアンケートは良かった。  
使い方は教えて頂いた事があるが、時間がたつと忘れてしまうので、この様なアンケートがあると、思い出す良いきっかけになる。
- 検索キーワードも何とかけばいいか程に慌てる中、ネット利用者には有り難い。
- アプリは重くなくて邪魔にならないのならそれをアピールするとよいと思うし、重いのなら軽くしないといれてもらえないと思う。
- 相談窓口で電話で病院に行った方が良かった事はあるけど、アプリがあるのは知らなかったの  
でダウンロードしておけば慌てずできそうだなと思った。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

